

平成23年度予算総額

941億7,461万2千円を可決

3月定例会の概要

初日（2月28日）の本会議では、市長から「本市では、二度の合併を経て、より自立性の高い権限を持つ特例市、特定行政庁へと順調に歩みを進めているが、地域主権改革の動きが本格化する中、20万都市にふさわしい行財政運営が一層重要性を増すものと考えている。

平成23年3月市議会定例会、2月28日から3月17日までの18日間を会期として開かれました。

この議会では、「平成23年度熊谷市一般会計予算」などの市長提出議案26件を審査し、23件を原案可決、3件の人事案件に同意しました。

また、議員提出議案2件を原案どおり可決し、さらに委員会提出議案2件を原案どおり可決しました。

そのため、「熊谷市自治基本条例」の本旨にのっとり、市民を主体とした参加と協働による自治の実現、総合振興計画に基づく各施策の積極的な展開が、私の目指す市政運営の原点であると考えており、『市民から信頼される行政』『市民が誇りをもてるまち』『市民の笑顔があふれるまち』の実現に向け、全力で取り組んでいきたいと考えている。新年度予算の編成は、経済

不況の影響により、平成22年度よりさらに市税収入が減少し、約4億円の落ち込みが見込まれるなど、厳しい財政状況下ではあるが、限られた財源を最大限に有効活用し、市民の暮らしを守るため、真に必要な施策を重点的に取り組むこととした。予算編成にあたっては、総合振興計画を基本として、これまで重点的に取り組んできた『子育て応援』『経済雇用対策』『安心安全対策』『環境対策』をさらに拡充するために、『子宮頸がん等ワクチン接種費用助成事業』『プレミアム付き商品券発行事業』『中央消防署等建設事業』『暑さ対策』事業など、積極的な予算を編成したところである。

平成23年度の予算規模は、一般会計は、総額587億円で対前年度比2・80%、額にして16億円の増となる。特別会計は7会計を合計して282億2,000万円、対前年度比2・34%、6億4,500万円の増となる。これは主に、国民健康保険特別会計で保険給付費などの増加によるものである。

水道事業会計は72億5,461万2千円で、前年度に比較し、0・57%、4,141万円の減となる。これらすべての会計の総計は、941億7,461万2千円で、対前年度比で2・40%、22億359万円の増となったものである。

また、昨年夏の記録的な猛暑を受け、暑い夏をクールダウンし、暑さから市民を守るとともに暑さを活用した地域の活性化と情報発信を図るため、『暑さ対策プロジェクトチーム』を設置し、このチームが立案した5事業『暑さ対策PR事業』、『暑さ対策熱中症予防グッズ配布事業』、『暑さ対策涼しさ体感アート事業』、『暑さ対策まちなかオアシス事業』、『暑さ対策暑さにまけるな中学生事業』を、暑さ対策事業として予算化をしたところである。

平成23年度の主要事業施策は、『魅力ある郷土をほこれるまち』事業として、4月1日付けでスポーツ振興課を設置するとともに『第95回日本陸上競技選手権大会事業』では大会運営を支援し、開催地として大会を盛り上げていきたい。

『市民と行政が協働するまち』事業では、市民活動団体紹介冊子作成事業、成年後見制度普及事業、妻沼聖天山観光案内事業、熊谷式運動場等芝生化事業等がある。

『みんなで創る安全なまち』事業では、中央消防署等建設事業で、熊谷東小学校区公民館を併設した新しい中央消防

署を平成24年度までの2カ年で建設する。

『だれもが安心して健康に暮らせるまち』事業では、子宮頸がんワクチン予防接種費用助成事業で、中学1年生から高校1年生までを対象とした子宮頸がんワクチンのほか、0歳から4歳までを対象としたヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用を全額公費で負担する。

『自然の豊かさがあふれるまち』事業では、都市公園安全・安心対策事業で、誰もが安心して利用できる安全な公園とするため、施設のバリアフリー化や健康遊具の設置を行っていく。

『活力ある産業が育つまち』事業では、プレミアム付き商品券発行事業で、熊谷商工会議所及び商工会等が行うプレミアム付き商品券の発行に対し補助を行い、地域経済の活性化を図っていく。

『便利で快適な人にやさしいまち』事業では、総合交通体系整備促進事業で、ゆうゆうバスの現行ルートに加え、新たに江南地区ルートと熊谷駅周辺ルートの運行を開始する。

『地域に根ざした教育・文化

のまち』事業では、(仮称)スポーツ・文化村整備事業で、市立女子高等学校の跡地及び施設を活用し、文化、スポーツに親しめる施設として整備するため基本設計等を実施する。

『効率的でわかりやすい行財政』事業では、事務管理経費で、事務事業評価システムの客観性と透明性を確保するため、公募市民や有識者で構成される外部評価委員会による点検・評価を行い、市民の目線に立った事業評価を実施していくものである。

平成22年度の3月補正予算については、『小学校エアコン整備事業』のほか、国の補正予算による地域活性化・きめ細かな交付金を活用した8事業、地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金を活用した5事業の経費を計上するほか、熊谷東小学校、中条中学校、吉岡中学校の屋内運動場建築事業を前倒しして実施するための経費を追加した。

このほか、一般議案として、『熊谷市立児童クラブ条例の一部を改正する条例』をはじめ、『熊谷市都市公園条例の一部を改正する条例』などを提案したものである。旨の施政方針が述べられました。

3日の本会議では、条例案や予算案に対する質疑が行われました。そして各議案は、所管の常任委員会に付託されました。

4日には、総務文教常任委員会及び福祉環境常任委員会において、また、7日には、市民産業常任委員会及び都市建設常任委員会において、付託された議案についてそれぞれ審査が行われました。

10日、11日、14日の3日間は、19人の議員による市政に関する一般質問が行われました。

最終日(17日)の本会議では、各常任委員長から案件審査の経過及び結果が報告され、質疑、討論を行い、市長提出議案をすべて原案どおり可決しました。

また、議員提出議案2件及び委員会提出議案2件をそれぞれ原案可決しました。さらに市長提出議案の人事案件3件に同意し、3月定例会は閉会しました。

可決された主な議案

◇平成23年度熊谷市一般会計

予算

歳入歳出予算の総額をそ

れぞれ587億円とするものです。

◇平成23年度熊谷市国民健康保険特別会計予算

歳入歳出予算の総額を201億5,699万円とするものです。

◇熊谷市立児童クラブ条例の一部を改正する条例

新たに児童クラブを開設するものです。

◇熊谷市都市公園条例の一部を改正する条例

南運動場の整備に伴い、南運動場野球場に関する規定の削除等を行うものです。

◇熊谷市スポーツ振興まちづくり条例

スポーツの振興によるまちづくりを総合的に実施し、活力あるまちづくりを推進するためのものです。

※詳しくは、13ページをご覧ください。

◇東北地方太平洋沖地震に関する意見書

東北地方太平洋沖地震に対し、速やかな措置を求めるとのものです。

※詳しくは、16ページをご覧ください。

◇熊谷市教育委員会委員の任命に同意

本塚雄一郎氏

◇熊谷市公平委員会委員の選任に同意

中澤 実氏

◇人権擁護委員候補者の推薦に同意

船田 啓子氏

請願の審査結果

◇国に対して「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の提出を求める請願(審査結果・趣旨採択)

◇国に対して、「子ども・子育て新システムの基本制度要綱」に基づく保育制度改革の安易な導入に反対し、現行保育制度の拡充を求める意見書の提出を求める請願(審査結果・採択)